社協だより ふれあい

No.69

2023年
2月17日

〒039-2371
青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柴山3-9
電 話 0176-55-2943
FAX 0176-55-2947
メール rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp

昔遊びで世代間交流

今年の社協だより「ふれあい」は子ども達の笑顔でスタート！
昨年１０月に行われた大曲小学校の１年生と大曲小学校学区の地域の方々の昔遊びの様子をお届けします。
社協は「いろんな世代がつながり、支え合う地域づくり」を目指します。

１０月２７日、子ども達は「昔遊び」を心待ちにしていたようで、元気な挨拶で地域の方々を迎えてくれました。
初めはぎこちない様子でしたが、地域の方々の優しい眼差しに子ども達もすぐに打ち解け、笑い声や歓声があちこちで聞こえてきました。
お手玉、こま、あやとり、けん玉など最近では遊ぶ機会が減ってしまった「昔遊び」を通じて、和気あいあい楽しい時間を過ごしました。

最後に子ども達より「昔遊びを教えてくれてありがとうございます」とお礼の言葉がありました。地域の方々は「子ども達からたくさんのパワーをもらい若返った」と微笑んでいました。

主な内容

▶社会福祉大会・・・・・・・・・・Ｐ２
▶事業実施報告・・・・・・Ｐ３～Ｐ４
▶生活福祉資金貸付制度
／救急医療情報キット　・・Ｐ５
▶青森しあわせネットワーク　・・Ｐ６
▶行事等案内、寄付報告　・・・・Ｐ７
▶３月の予定／脳トレクイズ　・・Ｐ８

社協だよりは皆さんからいただいた社協会費と赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

六戸町社協　検索

ホームページ　http：//www.rokunohefukusi.jp/

第27回六戸町社会福祉大会

町社会福祉協議会（会長　田中孝雄）と町共同募金委員会（会長　松浦建一）は10月2日、六戸町文化ホールにおいて、第27回六戸町社会福祉大会を開催し、福祉関係者など１３８名が参加しました。

式典では田中孝雄会長が「すべての人が安心して暮らせる町づくりの実現に向け、地域福祉の推進に全力で取り組んでいく」と式辞を述べ、社会福祉向上に寄与された方々の表彰を行いました。

「ぼけますから、よろしくお願いします。」の映画上映会は、認知症、老老介護、日本全体が抱える高齢社会のリアルな問題について、他人ごとではなく、自分のこととして捉える機会となりました。

《六戸町社会福祉協議会会長表彰》　（順不同・敬称略）

【表彰の部】

◇民生委員児童委員

・六戸町民生委員児童委員　　古里　進、安斉　多智子、南谷　英子、田中　栄寿

・六戸町主任児童委員　　佐藤　貞子

◇社会福祉協議会役職員

・役員　田中　孝雄、長嶺　きみ、村上　一夫

・職員　十文字　朋人、東　一覚、古川　美典

◇社会福祉事業共助者

・見守りサポーター

高屋　文子、船越　洋子、木村　紀子

田中　美雪、甲地　ミサ、蛯名　つる子

長嶺　京子、船越　多三衣、附田　幸子

△民生委員児童委員　古里　進様

△社会福祉協議会役員　長嶺きみ様

【感謝の部】

◇寄付者

北見歌謡会　代表　北見　二郎

◇団体会員・特別賛助会員

㈲エスポワール、野田重機建設㈱、㈲システムD

ひのでこども園、エスノス六戸福祉センター、㈲つばめ交通

《六戸町共同募金委員会会長表彰》

㈲斗沢木工所、オレンジハートまるとく店、スノヤ薬局、㈲小野寺水道設備工業

デーリー東北六戸販売所、六戸町立開知小学校

上北郡・青森県社会福祉大会被表彰者（敬称略）

●第７２回上北郡社会福祉大会

《表彰の部》

◇民生委員・児童委員　　滝沢　京子

●第７１回青森県社会福祉大会

令和４年１１月２日

リンクステーションホール青森

《表彰の部》

◇社会福祉事業共助者（寄付功労）

六戸町商工会建設工業部会　部会長　新田　明信

出前福祉講座

地域で、学校で、学びませんか。

六戸町ボランティアセンターでは、学校の福祉教育や、地域での自主的な学習活動で、福祉やボランティアに関する理解を深めていただくために、出前福祉講座を開催しております。
今回は、学校で開催した出前講座の様子をご紹介します。

『手話体験』 六戸小3学年

●三沢ろう協会の荒谷淳一さんよりあいさつなどの基本的な手話や日常生活の様子についてお話していただきました。いろいろな道具を使い生活していることがわかりました。

手話であいさつ
「ありがとう」

『ガイドヘルプ体験』 六戸小4学年

●八戸盲学校に通っている子ども達が訓練やいろいろな道具を使い、自分たちと同じように勉強をしたり生活していることを知ることができました。ガイドヘルプ体験では視覚障害者の手引きの方法を学びました。

階段は手引き者が一段先を歩きます。

『車いす体験』 大曲小・六戸小5学年

●車いすの操作と介助の体験を通じ、障害のある人がどんなことに困っているのか、介助をする側はどんなことに気をつければよいのか学びました。

介助者は声をかけてどう動かすか伝えることが大事だよ。とまった時は必ずブレーキをかけてね。

『高齢者疑似体験』 大曲小6学年

●疑似体験セットを装着し、高齢者の体や心の変化について考え、お年寄りへの接し方について学びました。

財布からお金をとりだすのが大変です。

子ども達の感想をご紹介します

★高齢者疑似体験★	★車いす体験★	★手話体験★	★ガイドヘルプ体験★
●目がみえなかったり、お金のくべつができなかったり、服がきれなかったり、豆を皿に移したりするのが大変でした。お年寄りが困っていたら声をかけて助けてあげたいなと思いました。	●自分で操作して曲がるときが難しかったです。少しの段差でも自分だけではあがれなかったです。 車いすで困っていることを他にも調べてみようと思いました。	●手話は耳の聞こえない人にとって大切なものだと思いました。手話は難しかったけどもっとたくさんの手話ができるようになりたいです。 ●耳の聞こえない人がでられるデフレンピックをはじめて知りました。カーリングの日本代表の荒谷さんはすごいと思いました。	●普通の学校の教科書とちがって点がたくさんあって驚きました。点字を指でさわって字が読めることがすごいと思いました。 ●町に音がなる信号などをつけてみたらいいと思います。

福祉安心電話ネットワークのつどい

10月24日、町老人福祉センターにおいて開催し、福祉安心電話設置者、協力員、民生委員など16名が参加しました。この集いは、福祉安心電話サービス事業を通じて、地域のネットワーク体制を構築し、支え合い、安心して暮らせる地域づくりを目指すことを目的としているものです。初めに、六戸消防署、六戸駐在所、六戸町地域包括支援センターより、「救急車の要請」「特殊詐欺への対応」、「地域包括支援センターの役割」について説明がありました。

続いて、県庁県民生活文化課の交通・地域安全グループ副参事の樋口 敬志氏より「交通事故の防止～事故にあわない、おこさない～」と題しお話していただきました。

生活支援パートナースキルアップ講座

11月16日、町老人福祉センターにおいて、生活支援パートナーや見守りサポーターなど23名が参加しました。

講師に、藤崎町社会福祉協議会係長の成田朋之氏を招き、藤崎町で行われている住民が主体となって高齢者の生活を支える実践事例が紹介されました。

中でも１人暮らしの男性高齢者宅を週１回訪問し、お薬カレンダーのセットや郵便物の内容の確認と説明、ゴミの分別などを一緒に行い、在宅で不自由なく生活していることを紹介してもらいました。

講師の成田氏は、「困っている高齢者は地域にたくさんいるが、声をだせずにいる。住民がお互い支え合うことで、安心して暮らせる地域にできるはず。」と話していました。

六戸町災害ボランティア研修会

１月25日、町老人福祉センターで開催し、民生委員や町内会関係者など13名が参加しました。初めに、「防災と減災」について講話を聴き、基本的な考え方を学びました。続いて３つのグループに分かれ、避難所運営ゲーム「ＨＵＧ」を通じて災害時の避難所の運営を模擬体験し、有事の際の対応を学びました。

八戸沖南東30キロを震源とするマグニチュード8.0、震度７の地震が町を襲ったと想定。ゲームは避難者の性別や国籍、病気やペットの有無などが書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に配置していくもので、次々と発生する避難所で起こり得る問題の対処法について考えました。

参加者から、「町内会などでも体験してみたい」「実際はもっと大変だと思うので、日頃から訓練していかなければならない」との声がありました。

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金とは、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象とし、資金の貸付とそれに伴う必要な相談支援を行うことにより、その世帯の自立を図り、安定した生活を継続して営めるように支援する制度です。

都道府県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が相談・申込みを受付しています。

総合支援資金	教育支援資金	福祉資金	不動産担保型生活資金
●**生活支援費** 単　身　　月額15万円以内 ２人以上　月額20万円以内 ●**住宅入居費**　40万円以内 ●**一時生活再建費**　60万円以内 ・失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯 ・原則として法に基づく自立相談支援事業及び関係機関による支援を継続的に受けることに同意していること	●**教育支援費** 低所得世帯が、高校、大学または高専に就学するのに必要な経費 ・高校 月額3.5万円以内 ・高等専門学校、短期大学 月額6万円以内 ・大学 月額6.5万円以内 ※特に必要と認められる場合に限り上限額の1.5倍 ●**就学支度費** 高校、大学、高専への入学に際し必要な経費	●**福祉費** 生業費・技能習得費・福祉用具等購入費・障害者自動車購入費・負傷又は疾病の療養に必要な経費・介護サービス費等・冠婚葬祭費・住居移転費等・就職等支度費 ・日常生活を送るうえで、一時的に必要と見込まれる費用 ●**緊急小口資金** ・緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の少額の費用 貸付限度額　10万円以内	●**不動産担保型生活資金** ●**要保護世帯向け不動産担保型生活資金** ※一定の住居用不動産を所有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯もしくは要保護の高齢者世帯に対して当該不動産を担保として生活費を貸付ける資金

救急医療情報キット

～万が一に備えたい、
あなたの命を守るバトン～

高齢者の安心・安全を守る取り組みとして、希望するひとり暮らし、または高齢者のみの世帯等に対し「救急医療情報キット」を配布しています。

救急医療情報キットとは、もしもの事態に備え、かかりつけ医療機関・持病・緊急時の連絡先等の情報をシートに 記入し、専用の容器に入れ保管しておくものです。備えておくことで、救急要請をした場合、駆け付けた救急隊員が救急医療情報キットから情報を得ることで、迅速に対応することができます。

ご希望の方は、六戸町社会福祉協議会又は地区の民生委員へご連絡ください。

▶使用方法
①救急医療情報キット及びステッカーを受け取る。
②医療情報を記入し、保険証の写し等と一緒にキットに入れる。
③救急医療情報キットを自宅の冷蔵庫に保管する。
④ステッカーを玄関のドアの内側と冷蔵庫に貼りつける。

在宅介護用器具貸付事業

在宅で介護している世帯の経済的及び介護負担の軽減を図るために、車いすとギャッジベットを無料でお貸ししています。

電話にて在庫をご確認ください。

◆◇◆◇◆ まずはお電話を ◆◇◆◇◆

六戸町社会福祉協議会　☎55－2943

社会福祉法人の社会貢献活動

青森しあわせネットワーク

青森県内の社会福祉法人が連携し、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、支援が必要な人を早期に把握し、具体的な解決を図ることによって、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていこうという活動です。

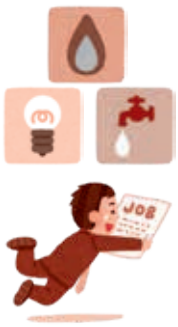
No.	活　動	内　容
1	総合相談（トータルサポート）	制度の狭間の生活困窮などのさまざまな課題を抱える方に対し、関係機関や地域住民と連携し、既存の制度や機関に適切につないだり、自立を支援のための総合的な相談支援を行います。
2	経済的支援（ライフサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にあり、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、概ね５万円を限度とした経済的援助を現物支給で行います。
3	食糧等の提供（フードサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にある方に対し、食糧等の提供を行うために、必要な食糧等を備蓄し、必要に応じて提供を行います。
4	就労体験・社会参加活動の提供（ワークサポート）	就労に不安のある方や、就労や社会参加活動を希望する方に対し、社会福祉法人の機能を活用し、就労の場や社会参加活動の機会を提供します。
5	その他	既存の制度やサービスでは対応できない新たな課題に対し、社会福祉法人が有する資源を活用し、社会参加や生きがい支援、居場所づくり、中間的就労や就労支援、子どもの学習支援や育児支援などその他必要な活動を行います。

県内で行われた相談事例紹介

Aさん（40代　女性）

本人の状況　ひとり親、経済的困窮
世帯の構成　母親、成人した息子、中学生の子
相談内容　母親と息子で生計を立てていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により職業を失い、母親の収入だけでは生活が厳しい。生活費にあてるため車を売り、携帯電話を解約するが、公共料金を滞納しており、食べるものも底をついてしまった。

給料日までの飲食の支援と滞納していた公共料金の支払いを代行しました。
息子の就労支援をし、再就職手当金等を受け取ることにより次の給料日までつなげることができ、安定した生活を過ごせるようになりました。



Bさん（50代　男性）

本人の状況　ひきこもり、経済的困窮
世帯の構成　独居
相談内容　長い間ひきこもりの生活で母親の年金で生活していた。母親が亡くなってからは、生活保護を受給し、買い物以外はずっと家でひきこもった生活を送っていたが、このままではいけないと悩んでいた。

体力面の不安があるので、フルタイム勤務ではなく、ワークサポートの就労体験からはじめました。福祉施設の職場で就職活動をはじめ、将来への希望を見出した生活を送れるようになりました。

六戸町内の青森しあわせネットワーク参加法人

★社会福祉法人楽晴会　★社会福祉法人もみじ会
★社会福祉法人六戸福祉会
★社会福祉法人六戸町社会福祉協議会

●問い合わせ先　六戸町社会福祉協議会　☎５５－２９４３まで

フードパントリーへの寄付のお願い

フードパントリーとは、生活困窮世帯やひとり親世帯など、様々な理由で食品支援が必要な世帯を対象に、寄付などでいただいた食品を無料で提供する活動です。
六戸町社会福祉協議会では以下の内容により無償で提供くださる方を募集しています。

■受付期間　令和５年２月～令和５年３月17日まで
■受付食材　・お米（玄米）
・乾麺（パスタ、そば、うどん、インスタント麺など）
・レトルト食品、インスタント食品、缶詰など賞味期限が２ヶ月以上あるもの
■申し出・問合せ先　六戸町社会福祉協議会
電話　５５－２９４３　／　メール　tenma.r@rokunohefukusi.jp
■そ の 他　・食料の提供は、町老人福祉センターにお持ちいただくか、ご連絡くだされば職員がいただきに参ります。
・常温保存できないものはお受けできませんので、予めご了承ください。
・食材以外でも日用品（ティッシュやトイレットペーパーなど）も受付けます。

いきいき創作教室　～簡単キットで作る「椿の押絵」～

■日　時　令和５年３月22日（水）　９：30～12：00
■場　所　六戸町老人福祉センター　集会室
■材料費　５００円（当日徴収）
■対象者　町内在住でおおむね60歳以上の方
■定　員　先着10名（定員になり次第締め切りいたします）
■申込み　２月27日（月）９：00受付開始　～３月８日（水）まで
■申込先　六戸町社会福祉協議会　　電話５５－２９４３
■その他　必要な方はメガネをご持参ください。

サイズ
直径13センチ

みなさまの善意に感謝（令和４年９月１日～令和５年２月６日受付分）

【寄　　付】
・デーリー東北六戸販売所　山内　一豊　様　２０，０００円
※古新聞、折込チラシ回収収益金をご寄付いただきました
・ひのでこども園　様　１２，０００円
・六戸町民ゴルフ大会実行委員会　会長　五十嵐　健二　様　７０，３６０円
・六戸赤坂新聞販売店　赤坂　隆司　様　　マスク・マスクケースセット　790セット
・田中　孝雄　様　１０，０００円
・高屋クリーニング店　高屋　文子　様　５，０００円

【子育て家庭応援事業への寄付】
・中澤　早苗　様　食器、雑貨、衣類他
・匿　　名　食器、バック他
・匿　　名　お菓子、缶詰
・田中　孝雄　様　煎茶、焼きのり、スティックコーヒー（10本）
・松村　英子　様　米（白米・１０kg）　３袋
・匿　　名　トイレットペーパー（12ロール）　２５個
・にこにこプラザ六戸　様　じゃがいも　コンテナ２箱
・匿　　名　米（白米）　２５kg

3月の行事予定

ふれあい・いきいきサロン

ふれあいいきいきサロンと元気はつらつ教室は元気アップポイント事業の対象です。

期　日	サロン	場　所	時　間	内　容
3月 2日（木）	高　　舘	高舘公民館	10：00～11：00	いきいき百歳体操体験会
3月 7日（火）	通 目 木	通目木構造改善センター	10：00～12：00	お菓子作り
3月 8日（水）	鶴　　喰	鶴喰コミュニティーセンター	9：30～12：00	健康教室
3月 8日（水）	上　　町	上町公民館	10：00～12：00	むかし話／ゲーム
3月 9日（木）	金　　矢	金矢公民館	9：30～12：00	スカットボール
3月12日（日）	上 吉 田	上吉田公民館	10：00～12：00	ゲーム／体操
3月13日（月）	長　　谷	赤石公民館	10：00～12：00	健康教室／反省会
3月13日（月）	み な み	南町（二）公民館	9：30～12：00	修了式
3月15日（水）	柳　　町	小平・柳町公民館	10：00～12：00	スカットボール
3月24日（金）	大　　曲	大曲公民館	10：00～12：00	お楽しみ会

心配ごと相談日

■時間　9：00～12：00

■場所　六戸町老人福祉センター

期　日	相談員
3月14日（火）	人権擁護委員　田澤孝三郎
3月28日（火） 行政相談日	民 生 委 員　小泉　伸幸 行政相談委員　田中　茂樹

※担当相談員は予告なく変更する場合があります。

行政相談とは

行政に関する苦情、意見・要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に活かされます。

3月の老人福祉センター入浴日

	3日（金）
7日（火）	10日（金）
14日（火）	17日（金）
	24日（金）
28日（火）	31日（金）

★入浴時間　10：00～15：00

★入浴は60歳以上の町民であれば誰でも無料で利用できます。　※入浴道具は持参ください。

★火曜日10時から「ラジオ体操」
金曜日10時から「元気はつらつ体操」
を実施しています。

※新型コロナウイルス感染症の状況により入浴を休ませていただく場合があります。

脳トレクイズ

最初の文字と最後の文字の間に3つ文字を入れ、自分で「しりとり」を完成させてね。（「が」⇒「か」でもいいよ）

【例】

桃太郎 ➡ 海 ➡ 店 ➡ 背中 ➡ カラス

【問題】

豆まき ➡ □ ➡ □ ➡ □ ➡ おひなさま

【応募方法】

★ハガキ又は、メールにしりとりの答えを書いて、住所・氏名・年齢・**社会福祉協議会へのご意見又はご感想を一言書いて**お送りください。ご応募いただいた中から抽選で5名にクオカード500円分を差し上げます。

★応募〆切
令和5年3月17日（金）
※当日消印有効

★宛先　039－2371
六戸町大字犬落瀬字柴山3－9
六戸町社会福祉協議会行き

〈メール〉
rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp

専用フォームからも申込みできます。